



市民病院だより

市報版

今月より、市民病院から診療などについて、お知らせしていきます。

もし、わが子に けいれんが起これたら・・・

国東市民病院小児科
半田 陽祐



国東市のみなさん、こんにちは。国東市民病院小児科の半田といいます。

日に日に暑さが感じられるようになってきました。夏休みも近づいてきて、プールや花火、虫取りなどお子さんにとっては楽しい行事が目白押しです。家にこもりっきりで、クーラーをキンキンに効かせて一日中ゲームはいけませんよ。この時期、プール熱やヘルパンギーナなど高熱をもたらすウイルス性の疾患が流行します。

それとともに多くなるのが「けいれん」です。

◎小児のけいれん性疾患◎

小児はけいれんを起こしやすい存在です。その多くは発熱とともにけいれんを認める「熱性けいれん」です。熱性けいれんは6カ月から6歳くらいの30人に1人程度に認められる、比較的良好にみられる症状です。そのほとんどは後遺症を残さず、発達への影響もありません。とはいえ、目の前で突然わが子が息を止め白目をむいて全身をガクガクさせたら…と思うと不安な方も多いと思います。けいれんは適切な対応、診断に基づいて冷静に対処する必要があります。今回は、けいれんへの対処について勉強しましょう。

◎熱性けいれん◎

前述の通り、小児ではよく見る症状です。ほとんどが発熱から24時間以内に生じ、2～3分で止まるため、病院を受診した時には止まっていることが多いです。一生に1回限りという人が多いのですが、何度も起こす児もいます。複数回起こした児には発熱時のけいれん予防を行うことがあります。詳しくは主治医の先生と相談しましょう。

◎けいれんをみたら◎

けいれんの動き(全身がガクガクとか片手だけガクガク、目はどちらをむいていたか、顔色はどうだったか、どれくらい続いたか)を記憶していただいていると、病院に着いてからの診断に大変役立ちますので、病院で症状を尋ねられた際は、思い出す範囲で結構ですので教えてください。

けいれん中は意識がないため、大きく揺さぶったり身体を動かすことは危険です。名前を呼び掛けていただくことは良いのですが、できるだけ冷静に対応しましょう。舌をかまないように指やタオルを児の口に入れるのも禁物です。もしかまれると、大人の指でも大けがにつながります。けいれんをしている児の周りに危険なものがあれば遠ざけて、児の顔(身体ごとでも可)を横に向けて吐いたものを詰めないように注意してください。けいれんが止まった後、すぐにいつもの状態に戻るようであれば、まず心配ありません。夜中なら無理に動かさず朝になってかかりつけを受診することで良いでしょう。いつもと様子が違う、違和感が感じられる場合は、こども電話相談、かかりつけ医、当番